

平成30年第13回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 平成30年9月26日（水） 於：第1委員会室

II 開会時間： 15時45分

閉会時間： 16時20分

III 出席委員： 教育長職務代理者 大川 佳郎 委 員 野田 洋二
委 員 近藤 寿子 委 員 妹尾 恵美

IV 欠席委員： 教育長 石川 雅史

V 出席者氏名： 教 育 次 長 岡本 隆 教育総務課長 服部 克巳
学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉
社会教育課長補佐 長崎 英治
(書 記) 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

平成30年第12回教育委員会会議（H30.8.28）の議決事項等について。

教育長報告：なし

議 事：なし

協 議：「平成30年7月豪雨の被災者に係る市立保育園等の保育料減免取扱要項」の制定について

そ の 他：玉野市学校給食センター整備基本計画（案）にかかるパブリックコメント実施結果について 他1件 (承認)

3. 教育長の報告

(1) 平成30年9月定例会市議会一般質問項目について

(石川教育長) 資料により説明。

4. 議 事 なし

5. 協 議

(1) 平成29年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書(初稿)について

(教育総務課長) 資料により説明。

(野田委員) (P34)競技スポーツ振興事業と文化・芸術活動等育成事業の評価で、いずれも「活性化に繋がっていない」とあるが、なぜか。昨年はこの表記はなかったが。

(学校教育課長) 現状は申請に対して処理を進めているだけで、事業の目的である活性化には繋がっていないのではないかと判断した。

(野田委員) 中国大会への出場など、激励金の対象となること自体が大変なことだ。活性化された結果としての出場ではないか。

(石川教育長) 新聞への掲載など玉野市の盛上げに貢献しており、役割を果たしていると考えて良いのではないか。

(近藤委員) (P45)トップアーティスト招へい事業の「受益団体への周知方法等について協議・検討が必要」とはどういうことか。

(社会教育課長補佐) 制度を利用する団体が中学校に偏っている傾向にある。小学校などにももっと周知すべきであるため、その方法等に協議・検討が必要ということだ。

6. その他

(1) 玉野市の教育推進の成果と今後の取組について

(学校教育課長) 資料により説明。

(野田委員) 小6と中3の年ごとの結果を表したP5のグラフよりも、同じ子どもたちの経年変化を表したP6のグラフの方が意味があるように思う。

(学校教育課長) 学力・学習状況調査は、単純に全国平均と比較する見方になっている。学年によってばらつきがあり、多少の変動は仕方な

いが、一般の方からは理解が得がたい。

(野田委員)

一般にもP6のグラフを見せたほうがよい。右肩上がり傾向のグラフになるのは県下でも珍しいと聞く。他市では中学生になると学力が落ちる傾向があるのか。

(学校教育課長)

学校の荒れの影響もあるのだろう。県教委の分析官曰く、玉野市と高梁市に右肩上がりの傾向があるそうだ。とはいえ、学力の低いところからスタートしているところに本市の課題があると認識している。

(2) 平成30年 10月/11月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明。

次回、教育委員会は平成30年10月2日(火)13:30から第1委員会で開催するので参集願います。

以上で、第13回教育委員会を閉会します。

議事録調整者

書記

山内 祐樹



会議録署名委員

教育長

石川 雅史



〃

教育長職務代理者

大川 佳郎

